

大地震を体験 ～かなえっこどつきどきスクール



地震体験車

「防災」をテーマに

実行委員長 多田 俊輔

今年度も全学年の小学生と保護者を対象に「かなえっこどつきどきスクール」が「防災」をテーマに2日間にわたり開催されました。1日目には

防災講座でクイズ形式での安全行動のグループ学習、また避難所生活を想定してのダンボールベッド制作、ランタン作りでは各班創意工夫し特色ある作品を協力して制作しました。2日目には災害非常食の調理試食体験、地震体験車では全員が大震災の揺れを体験しました。2日間公民館へ泊まり込みの学習となりましたが、盛り沢山の内容で参加者全員が改めて防災の大切さを楽しく体験、学習することができたイベントとなりました。

えんいほくどい

昨年新型コロナウイルスが「5類」に引き下げられて、それまで自粛されていたイベント、行事等が以前のように開催されるようになってきた。マスクも個々の判断だが着用しなくなった。近年における猛暑の際のマスク着用は、かなり厳しく熱中症になりうる恐れもあり、マスクを外せるだけでも随分と日常が楽になったと思う。コロナもまだ収束には至っていないが、落ち着いてきたように思う。

さて、そのような状況ではあるが、世の中デジタル化の進歩が著しい。PC、スマホがあればある程度の用事を済ませることができてしまう。買い物するにも外出せず、仕事だってオンラインで可能となっている。自宅にいながら事足りてしまう。便利で楽だ。もうこれが当たり前で慣れてしまえばそれまでだ。ただ本当にこれでいいのか。現代における便利なツール、システムが突然なくなったらどうするのか。昔のようにアナログ的な社会に人々は対応できるのだろうか。令和という時代を生きている中で、不便だったと感じなかった「昭和」が懐かしい。

(下山 M・A)

山 地域で楽しむ！ 納涼祭

上山区長
牧島龍雄

7月20日、日中の最高気温は33度を記録、暑い夏を確信させる日に、上山区においても恒例の「納涼祭」が開催されました。天候とコロナ禍により昨年5年ぶりに実施できた行事ですが、今年はいよいよ恒例に近づいたという感慨があります。

上山歌を歌おう会の合唱やGMDダンスドリル部のダンスパフォーマンス、抽選会、じゃんけん大会などのイベント、PTAや壮年団はじめ各種団体の夜店など、地域ならではの出演・出店をいただき、総勢800人ほどが夏のひとときを楽しみました。準備等やご来場いただいた皆様方にあたたためてお礼申し上げます。

日々の暮らしの中で、「地域」を穏やかに感じることができる大切な催しだと思っています。

中平 区民納涼まつり 300名が集う

中平分館長
黒河内隆史

第8回区民納涼まつりを7月20日、鼎コミュニティ防災センターで開催しました。

鼎地区随一の特設ステージは吟遊打人・塩原良さんと青少年和太鼓チーム「THE SIMBA」による力強い和太鼓演奏で開幕。その後、区民によるバンド3組の演奏、小学校PTA企画によるゲームでまつりを大いに盛り上げ、来場者から大きな拍手が送られていました。



また、区役員・中平分館委員・各種団体による



下茶屋 区民相互の交流の場 納涼祭

下茶屋分館長
糊倉健次

下茶屋にも暑い夏がやってきました。梅雨が明け下茶屋分館最大の行事「区民納涼祭」を開催しました。2年前納涼祭を再開した際は、コロナ禍で参加を控える方もいましたが、徐々に参加者が増えてきたことをありがたと思っています。

下茶屋は高齢者率が高いが、子どもの数も増えています。この中でいかにして区民相互の交流を深められるかを大事に考え企画計画を進めました。

当日は、茶屋町太鼓のオープニング演奏の予定でしたが、突然のスコール。進行予定を変更して、ほぼ計画通りに実施

分館活動

にぎわう 夏祭り

屋台や水ヨーヨーすくい・射的などのキッズコーナーなども多くの人が出で賑わいました。

「Song中平」を全員で歌い、恒例の大抽選会で閉幕となりました。

区民みんなで作る「まつり」として成功裡のうちに終わりました。



東 笑顔を次世代に

東半分館長
米山和彦

8月27日、今年も大勢の来場者を迎え笑顔あふれる納涼祭ができました。分館目標に掲げた「楽しむこと」が共通の目的です。ポジティブなエネルギーが笑顔をよびました。「継続は力なり、どうせ続けるなら楽しまなきゃ、どんな時も前向きに」との思いです。物事の考え方や方向性が近い東鼎において、コロナ禍であっても中止という選択肢

は一切なく、よそがでないなら尚更にと、こんな時こそ共に乗り越えようと試行錯誤してきました。この経験は災害時においても大きな力になり得ると信じています。「ここにいる人たちは今何をすべきか、何が一番大切なのかを理解しているに違いない」と感じると共に、集う歓びとこの居心地の良さを次世代へ繋げる必要性を感じています。



することができました。実行委員の皆さん、区民の皆さんのご協力に感謝します。今年の納涼祭が区民の皆さんの元気に繋がったとすれば幸いです。

いいだ人形劇フェスタ 2024 県地区公演

猛暑の中

70名が参加

切石 岩下ゆき子

8月3日、切石会館にて、三重県から来られた「お笑い座木綿」さんによる人形劇「たぬきとおしようさん」紙芝居「みんなでポン」が上演されました。

猛暑の中、小学生以下のお子さん37名を含む、総勢約70名の皆様にお越しいただきました。

会場では、お孫さんと一緒に来られたおじいさん、おばあさんも楽しませ、子どもたちも参加する形の演目もあり、歓声と笑いに包まれ、大変盛り上がりました。
来年の人形劇も楽しみです。



名古熊公民館



切石会館



切石会館



名古熊公民館



県小学校

県地区縦断駅伝大会 結果

【総合順位】

- 1 位 切石分館
- 2 位 下山分館
- 3 位 上茶屋分館

【分館の部】

優勝 切石分館

【小学生の部】

優勝 飯田 F C

【一般の部】

優勝 チームアマチュア



県婦人会78年の活動に終止符

去る4月27日、県「婦人会記念誌発刊祝賀会」が県公民館にて佐藤市長等の来賓を招き、三十余名の会員が出席して開かれました。これは3冊目の「県婦人会のあゆみ」発刊を記念するとともに同会の78年の歴史に区切りをつける会でした。
祝賀会では岡田慶会長の主催者挨拶、来賓祝辞に続き、丸山清子さん、水野こはるさんと岡田会長が活動の思い出を披露しました。婦人文庫や生活改善、リサイクル運動の中でのマイバッグの考案、また会の活動財源となった保険事業の取組みや楽しかった研修旅行の思い出等、婦人の旺盛な学習意欲と時代の課題に身近なところから取り組む実行力に感服しました。会旗を降納して祝賀会を閉じた後、会食しながら歓談し、閉会しました。今後は歴史的な資料の整理等を行います。
(文責 笹 行夫)



左官屋からマッサージ師へ

下茶屋 野村祐司さん(76歳)



今回は下茶屋でマッサージ師を営み、茶屋町太鼓鼎の会長をされている野村祐司さんを取材しました。

大学卒業後、野村左官所を継ぐため実家に戻り左官や営業等の仕事をして毎日を過ごしていました。

しかし、以前からの夢でもありましたマッサージ師の仕事をしたという思いが強くなり、60代半ばに松本の専門学校に通い念願のマッサージ師の資格を取得しました。

それを機に野村左官所を閉めマッサージの仕事を始めました。広告や看板を出しているわけではありませんが、丁寧な施術が評判となり、クチコミでお客様も増え、予約でいっぱい毎日ですが、楽しみながら仕事に励んでいます。そして、野村さんにはもう一つの顔があります。21年前、獅子舞のない下茶屋区において、何かそれに代わることを始めたいという思いがある16名の有志と相談し、太鼓を始めることになりました。皆で資金を出し合い、数台の太鼓を購入し『茶屋町太鼓鼎』の名のもと、第一歩を踏み出しました。それ以来、長きに亘り、会長として、茶屋町太鼓鼎の存続・発展のため尽力され現在に至っております。

(取材：大下真彦)

かなえびと

No.56

一色分館 松島真二
6月23日生憎の雨天でしたが、「大鹿歌舞伎」の伝統を守る素晴らしい保存会活動に続き、「三六災害」で崩れ倒れた大西山の貴重な講話の後、「中央構造線博物館」では講師を質問攻めで独占するなど楽しく勉強しました。国指定文化財、ジオラマでと素晴らしい研修旅行でした。

役員研修で大鹿村に

将来の夢は、きょうりゆうにかかわる仕事をしたいです。なぜかという、きょうりゆうが好きだからです。特に好きなきょうりゆうは、ティラノサウルスです。ティラノサウルスは、白亜紀後期(約7千万年前から6



将来の夢

上茶屋 東谷真翔さん(5年生)

千6百万年前)に生きていて、生息地は、アメリカです。全長約12メートル体重は10トンで肉を食べます。ティラノサウルスの生息はまだ全ては明らかになっておらず、今も研究がすすめられていて、将来そういう仕事につきたいです。家ではちゅう類の飼育をしています。なるべく長生きするようにがんばって世話をしています。

編集後記

館報をお読みいただきありがとうございます。地域のイベントはじめ様々な活動などお伝えしております。地域の文化などに興味をお持ちいただきお楽しみください。今年、地震の報道が続き、近い将来には南海トラフ巨大地震の発生が確実視されております。個人レベルでも備えておきましょう。(Z・H)



No.130